

令和6年度シラバス（芸術・音楽Ⅰ） 学番 68 新潟県立高田南城高等学校

教科（科目）	芸術・音楽Ⅰ	単位数	2単位	学年（コース）	1年次 選択必修
使用教科書	MOUSA1（教育芸術社）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成する。 ① 自他を大切にできる豊かな心やコミュニケーション能力 ② 勤労観を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる人材 ③ 社会の変化に適応できる人間性と幅広い学びにチャレンジする精神
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するため、次のような教育活動を行う。 ① 少人数制授業や授業における学びのユニバーサルデザイン化を図るとともに、ICT等を活用しながら基礎・基本の学びを展開し、個に応じた指導を行う。 ② 二人担任制や充実した教育相談体制により、社会への適応力や規範意識醸成のために生徒に寄り添った生徒指導を実践する。 ③ 自他を尊重し、よりよい人間関係を築くことで協働的に学び合う学習に取り組む。 ④ 地域と連携したキャリア教育を充実させるとともに、個別最適な学びにより、生徒一人一人の進路指導を行う。

2 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 指導の重点

生涯学習の基本となる力を養うために、歌唱・器楽の演奏に必要な知識・技術の習得を目指す。
音楽的視野を広げるとともに、多様な音楽を理解する心情を育てる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌う活動に関心を持ち、曲想に適した発声で歌うことができる。基本的な視唱・視奏力を身につけ、演奏することができる。音楽の特徴を理解している。	音楽の構成要素を知覚し、その関わりを考え、表現活動に生かしている。	音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱・演奏・創作活動に取り組もうとしている。

5 評価方法

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
音楽表現実技テスト 筆記テスト 活動内容の観察・聴取 などから評価します。	音楽表現実技テスト 聴き取りテスト ワークシートの提出内容の分析 などから評価します。	活動内容の観察・聴取 ワークシートの提出内容の確認・分析 などから評価します。

6 学習計画

	単元名	学習活動	時間	評価の観点	評価方法
前期	音楽表現の基礎	曲想に応じた発声の方法を学び、ふさわしい発声で歌う。自身の声域を知り、移調によって表現を工夫する。楽譜の正しい読み方を身につけ、音楽表現に生かす。	15	a b c	観察・聴取 ワークシート(分析)
	音楽の調和	音楽の構造を理解しながら、伴奏や他者との調和を意識して演奏する。歌唱・器楽活動を通して、二声の音楽を理解する。 ギターの基本的な奏法を学ぶ。反復記号を学習し、歌詞のない楽譜の演奏順序を理解する。	13	a b c	
	楽譜の基礎	ト音記号の音高や基本的な音価について理解する。	2	a c	
	西洋の音楽	名曲を鑑賞しながら、西洋音楽の流れや代表的な音楽形式と特徴、文化的・歴史的背景とを学ぶ。	5	a b c	
	前期試験	<歌唱>日本の歌曲、日本のポップス各1曲 <器楽>ギター旋律奏、コード奏 <楽典・鑑賞>楽譜の基礎、鑑賞の知識		a b c	演奏・筆記
後期	音楽の多様性	諸外国の音楽・日本の伝統音楽について学び、箏に親しむ。鑑賞活動をとおして、オーケストラの楽器や世界各地の風土と音楽の関わりを知る。 リズムや音階について学び、様々な音楽の特徴を理解する。音階の特徴を生かして、旋律を創作し、演奏する。	15	a b c	観察・聴取 ワークシート(分析)
	舞台芸術	舞台芸術を中心に様々なジャンルの音楽について学び、歌唱表現を工夫する。鑑賞を通して舞台芸術の特徴、伴奏音楽の役割を理解する。	10	a b c	
	楽譜の基礎	音価について理解し、組み合わせによって生じるリズムや拍子について学ぶ。	4	a c	
	演奏表現の伸長	チャイムでアンサンブルを楽しむ。	6	a b c	
	後期試験	<歌唱>歌曲・ミュージカル 校歌 <器楽>箏曲 アンサンブル <楽典・鑑賞>楽譜の基礎、鑑賞の知識		a b c	演奏・筆記

計70時間（50分授業）

7 課題・提出物等

授業の進め方、課題・提出物など

教科書を中心に表現、鑑賞、創作活動をする。ワークシートは丁寧に取り組み、必ず提出すること。また、歌唱・器楽の既習曲について実技テストを行う。

8 担当者からの一言

音楽 I では歌唱、器楽、鑑賞、創作など幅広く学びます。平易な課題から始めるので、必ず練習に参加してください。練習すれば、技術は向上します。また、苦手な分野があっても積極的に取り組んで下さい。